

「行ける学校」から「行きたい学校」へ失敗しない
高校選び極意を現役高校長が受験生に伝授!

あなたの**夢**を応援します

志望校選びで失敗しない 高校選択セミナー

高校選びは慎重に行わなければ、
入学してから「こんなはずじゃな
かった」と後悔することになりか
ねません。

失敗しない高校の選び方を把握
して、高校生活を満喫できるよ
うに準備しましょう。



【講演内容】

第Ⅰ部 高校選択について

1 「高校」を考える

2 「高校」を知る

①公立と私立②共学と別学

3 「高校」を選ぶ

①校風・雰囲気 ②部活動 ③進路実績

第Ⅱ部 入試の仕組みについて

1 高校入試の仕組み ①公立と私立

第Ⅲ部 受験生へ

1 君たちは必ずできるようになる

講師:プロフィール

【第Ⅰ部】 長谷部俊幸

元公立高校管理職

伊奈学園総合など主に県南の高校に勤務

【管理職として】

行田進修館、所沢中央、松山女子高校他

【第Ⅱ・Ⅲ部】 榎本克哉

元公立高校管理職

県南の女子校及び県北の男子校に勤務

【管理職として】

公立中学校、伊奈学園総合、川越高校

南稜高校、松山女子高校



高校を考える

(1)義務教育ではない



①自分の意思で選択

②入試の壁(選抜)

絆・連帯感



(2)自身の看板である

「誇り」と「プライド」

➡「School エンゲージメント」
「良い学校」の条件です

仲間との絆や誇り。
皆さんにとってかけがえのない母校。
生涯にわたって皆
さんを象徴する看
板となります



「高校」を知る？ (1)そもそも公立、私立って？

私立高校と公立高校4つの違い！



1 学費

一般的に、「公立は安く、私立は高い」？

(1)公立高校

全日制課程 118,800円（年額）（令和3年4月1日現在）

所定の要件に該当する場合、国が生徒に代わり高校の授業料を負担する「高等学校等就学支援金制度」があります。また、埼玉県教育委員会では、県所定の要件に該当する場合、授業料を免除する制度を行っています。授業料以外には、PTA・後援会費などの学校徴収金があります。

(2)私立高校

一般的に学費が高い ※各学校によりまちまち

入学金	100,000円（1年生のみ）					
施設費等 納付金	全額	200,000円				
授業料	全額					
		396,000円	396,000円	396,000円	268,200円	268,200円
					118,800円	118,800円
合計	1年生		696,000円	496,000円	487,000円	387,000円
	2・3年生		596,000円	396,000円	387,000円	118,800円
補助区分	生活保護 家計急変	基準A	基準B	基準C	基準D	県：対象外
目安年収		約500万円	約590万円	約609万円	約720万円	約910万円

目安年収は、モデル世帯（両親・高校生・中学生の4人家族で、両親の一方が働いている世帯）の場合

：県の補助
：国の補助
（就学支援金）

就学支援金と補助金



最大約70万円
の受給(高1時)

その他、各種特待制度あり
■成績上位者、■スポーツ特待
■その他…地域、同窓など

「高校」を知る? (1)そもそも公立、私立って?

私立高校と公立高校4つの違い!

2 教育内容

公立の均質性・中立性 ↔ 私立の独自性・特色化

(1)公立高校 栄養バランス・供給者主義

①公教育(機会均等)…どこを切っても〇〇、光庭方式

➡ 施設設備や先進教育に遅れ…バランス重視の品質保証

②全日制と定時制、通信制…パレットスクール、大宮中央

③普通科と専門学科…工業・農業・美術・書道・音楽・映像など
バランスの普通科に特色の専門学科 ただし、とがり過ぎには慎重に…。

(2)私立高校 偏食栄養過多・消費者主義

校訓「恥を知れ」

①建学の精神…私教育としての独自性、特色化 校風の醸成へ

私学の創設者が、どのような人材を育成したいかなどの理念や気概、願いをうたいあげたものです。

②多様なコース制…特進系、探究系、グローバル系他

同じ高校なのに偏差値が10ポイント以上違うコースも

➡ コース選択は学校選択同様とても重要。同一校でも別物

特進系は成績、探究・
STEAM系はカリキュラム



「高校」を知る? (1)そもそも公立と私立って?

私立高校と公立高校4つの違い!

3 施設設備 公立…税金による公平性 ↔ 施設充実費による私学の優位性

- (1) 学校施設設備はやっぱり私立…校舎、各施設
- (2) ICT関係の環境整備も私立に軍配?…iPad, 電子黒板,Wi-Fi等
- (3) 運動施設…広さは公立に軍配も、最新施設はやはり私立か?



4 学習環境編

学校によってまちまち。私立の方が面倒見がいい学校が多い? 高い費用を支払っている分、手をかけてくれる?

- (1) 課外活動プログラムや課外学習環境も私学に軍配?

自習環境プログラム(学習支援システム)・進路サポートやボランティアプログラム等

- (2) バランス重視の公立に対して進学に特化した私立のカリキュラム

授業時間数の違い、先進系・探究系・グローバル・サイエンス系など特化したカリキュラム

箱物に惑わされないことも。…ただし、学習環境は成長の場として注目。

「高校」を知る？

もちろん共学です！

①実社会と同様…男女がお互いに、いい影響を与え合う

②高校生活は、青春時代

…異性が近くにいるからこそ、「楽しい！」



ジェンダーバイアスの存在

なぜか？…女子生徒と男子生徒は異なる扱いを受け、異なる方法で行動することが求められるため、自然と性差や男女の役割がインプットされてしまう。女子力の発揮？



お勧めは別学ですね！

①リーハンドで自分らしく・のびのびとした学生生活

②性別による役割を背負わず、自由に能力を発揮

③男女御三家をはじめとする難関校に別学が多い

男女別学のほうが学習効果が上がる。アメリカ、2002年時点で別学クラスがある公立学校は10数校、2012年には別学のクラス編成学校が390校、別学校は106校。



ジェンダーフリーで自立への近道

「高校」を選ぶ こんな高校なら間違いない

(1)校風・雰囲気編

①行事を見る ②授業を見る ③生徒を見る

直に見て感じる事が大切…見るポイントは？

満足度に志・そして高い規律性

…身だしなみ、礼儀、思いやり、優しさ、謙虚さ

…安心・安全は学校生活はマスト!…



きれいな空気と土壌が皆さんを成長させる



「高校」を選ぶ

こんな高校なら間違いない

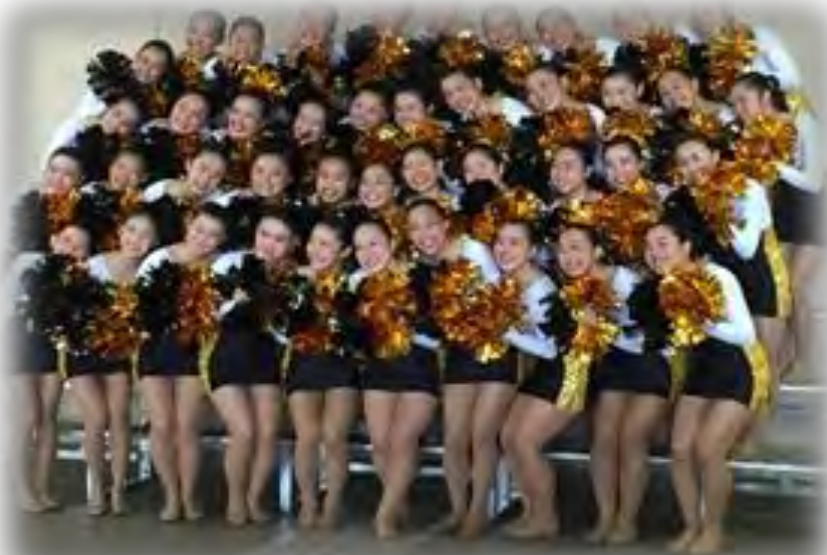
(2)部活動編

レベルでやりたいのか…自分の特性と向き合う

- ①高校デビューならば**マイナー競技!**
- ②トップレベル、実績重視ならば**私立!**…ただし、**部活運営方針に注意**
- ③参加重視型ならば**公立!**…**全員部活動参加**



…体験入部及び部活動見学には必ず参加しよう…



「高校」を選ぶ

こんな高校なら間違いない

(3) 進路編…多様化する入試・進路実績には要注意

入試方法は一般選抜が43.3%、学校推薦型選抜(公募・指定校)が26.9%、総合型選抜(自己推薦)が16.8%

①指定校制度…大学からの枠は学校単位、**小規模校に有利**

②一般入試…厳格化のしほりから**難易度上昇**、敬遠傾向へ

③総合型選抜…高校時代の実績重視、**成長の場**があるか



- 総合型・公募推薦等がねらい目…**模試偏差値10以上の学校へ**
- 進路実績の総数に惑わされない。生徒の総数に注目

